

議案第 10 号

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものとする。

令和 5 年 11 月 28 日提出

君津市長 石井 宏子

提案理由

一般職の職員の期末・勤勉手当の支給月数の引上げを踏まえ、常勤特別職の期末手当の支給月数の引上げを行うため、特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例(昭和 45 年君津市条例第 18 号)の一部を改正しようとするものである。

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

第1条 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例（昭和45年君津市条例第18号）の一部を次のように改正する。

第6条第2項中「100分の220」を「100分の230」に改める。

第2条 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を次のように改正する。

第6条第2項中「100分の230」を「100分の225」に改める。

附 則

（施行期日等）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例（以下「改正後の条例」という。）の規定は、令和5年12月1日から適用する。  
（期末手当の内払）
- 3 改正後の条例の規定を適用する場合には、第1条の規定による改正前の特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の規定により支給された期末手当は、改正後の条例の規定による期末手当の内払とみなす。

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例新旧対照表

改正案	現 行
<p>第1条による改正                      (期末手当)                      第6条 省略                      2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の230</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。                      (1)～(4) 省略                      3 省略</p>	<p>(期末手当)                      第6条 省略                      2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の220</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。                      (1)～(4) 省略                      3 省略</p>
<p>第2条による改正                      (期末手当)                      第6条 省略                      2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の225</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。                      (1)～(4) 省略                      3 省略</p>	<p>(期末手当)                      第6条 省略                      2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の230</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。                      (1)～(4) 省略                      3 省略</p>